

令和8年度 各種健診・がん検診内容一覧

1. 国保特定健診・後期高齢者健診・基本健診・特定健診（国保以外）

健診名	健診会場	対象年齢	個人負担金（円）	健診内容・注意点
国保特定健診 40～74歳の国保加入者 ※75歳の誕生日を迎えるまで	集団 ・ 医療機関	40～69歳	1,000	<健診内容> ①問診、②身体計測（体重・身長・腹囲・BMI）、③血圧測定、④血液検査（脂質・血糖・肝機能）、 ⑤尿検査、⑥診察 医師が必要とした場合（心電図・眼底検査・貧血検査・腎機能検査）
		70～74歳	500	
		41,46,51,56, 61,66,71歳	無料	
後期高齢者健診	集団・医療機関	75歳以上	500	国保特定健診・後期高齢者健診は、貧血検査・尿酸・腎機能検査を全員に実施しています。 後期高齢者健診では、腹囲測定・眼底検査はありません。
基本健診	集団	19～39歳	1,800	<注意点> 食事は、検査の4時間前までに済ませてください。水の摂取は制限ありません。 高血圧・心臓病の薬を服用されている方は、受付2時間前までに少量の水で服用してください。 糖尿病の薬を服用されている方は当日検査が終わるまで服用しないでください。 その他の常備薬は、服用を避けていただくか、主治医と相談のうえ受診してください。
特定健診 （国保以外） 40～74歳の被扶養者	集団	40～74歳の 被扶養者		医療保険者ごとに異なります。ご加入の医療保険者にお問い合わせください。

2. 各種がん検診

検診名	検診会場	対象年齢	個人負担金（円）	注意点等	
胃がん検診	集団 （バリウム）	30～69歳	1,500	午前受診：前日の夜9時以降の飲食は控えてください。 午後受診：当日の朝7時までなら朝食をとっても構いません。 （何も塗っていない食パン、具の入っていないお粥かうどん、水、お茶、ブラックコーヒー） 水については、検査の3時間前までは飲んで良いです。 （のどを潤す程度のごく少量の水については検査の1時間前までをお願いします） 検査が終了するまで、タバコ、ガムも控えてください。 高血圧・心臓病の薬を服用されている方は、受付2時間前までに少量の水で服用してください。 また、糖尿病の薬を服用されている方は当日検査が終わるまで服用しないでください。 その他の常備薬は、服用を避けていただくか、主治医と相談のうえ受診してください。	
		70歳以上	800		
	医療機関 （カメラ）	40～69歳	1,500		
		70歳以上	800		
大腸がん検診	集団・窓口配付	30～69歳	500	検体容器は、集団検診会場または窓口（すこやか健康課）にてお渡しし、後日指定する日に役場へ提出します。（家族の方でも検体容器をお渡しできます） 窓口配付：6月1日（月）～12月28日（月）	
		70歳以上	300		
	医療機関	40～69歳	600		
		70歳以上	400		
前立腺がん検診	集団・医療機関	50～69歳	700	血液検査で前立腺特異抗原（PSA）を測定します。	
		70歳以上	400		
肺がん・結核検診	集団	40～64歳	X線	300	65歳以上の方は、結核検診を同時実施します。 撮影時の服装は、薄い無地のTシャツか肌着が適しています。ボタン、金具、ファスナー、刺繍、アップリケのついている服、ブラジャー等での撮影はできません。 【重喫煙者に対する喀痰検査の廃止について】 『肺がん検診ガイドライン2025』にて、重喫煙者に対する喀痰検査は肺がん発見効果が小さく、非推奨とされたため、令和8年度から喀痰検査は廃止します。
		65歳以上	X線	無料	
	医療機関	40～64歳	X線	1,400	
		65歳以上	X線	無料	
子宮頸がん検診	集団 ・ 医療機関	20～69歳		1,400	検診の際、細胞をブラシで擦って取るため、出血が2～3日続く場合があります。1週間以上長引くときは医療機関を受診してください。 生理中は避けてください。 子宮や膣に炎症がある場合は再検査になる場合があります。
		70歳以上		700	
乳がん検診 ※昨年度受けていない方	集団 ・ 医療機関	40～69歳		1,600	ペースメーカー（リードレスを除く）を装着している方、豊胸手術をしている方、妊娠中の方はご遠慮ください。
		70歳以上		800	
肝炎ウイルス検査 ※過去に受けていない方	集団	40～69歳		700	血液検査でB型・C型肝炎ウイルスの有無を検査します。

※ 年齢は令和9年3月31日時点の満年齢です。

※ 生活保護世帯の方は、個人負担金を還付しますので、領収証を持参し、役場すこやか健康課で申請手続きをしてください。

～ 各種検診結果について ～

町では、一部事務を鳥取県国民健康保険団体連合会に委託しており、検診結果を提供することとしています。また、鳥取県では各種健診を受診しやすい確かな内容に改善していくため、検診の結果や精密検査を受けられた方の結果を収集し、鳥取県・鳥取大学医学部・鳥取県医師会で構成される「鳥取県健康対策協議会」で分析・検討することとしています。ご了承くださいませようお願いします。

【問合せ先】

琴浦町役場 すこやか健康課

TEL：52-1705

～各種がん検診を受ける方、受けた方へ～

- 各がん検診（胃・大腸・肺・子宮・乳）は、死亡率を減少させることが科学的に証明された有効な検診です。検診で早期に発見して治療することにより、がんで亡くなることを防ぐことができます。**検診は自覚症状がないうちに受けることが大事です。**
- がん検診の精度管理のため、精密検査の結果は町へ報告されます。また最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも後日精密検査結果が共有されます。
- 各がん検診には**利益（がんで亡くなることを防ぐ）と不利益（偽陰性、偽陽性※など）があります。**
※偽陰性とは実際にはがんがあるのに見つけれないこと、偽陽性とは実際にはがんでないのに「要精密検査」と判定されることです。

【胃がん検診】

- 胃がんは、わが国では50歳代以降に罹患する人が多く、がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- 胃がん検診は、胃部のX線検査もしくは胃内視鏡検査を繰り返し受けてください。ただし、胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- 胃がん検診で「要精密検査」となった場合は胃がんの疑いがありますので、**必ず精密検査を受けてください。**精密検査は胃内視鏡検査です。また、生検（組織を採取し、悪性かどうか調べる検査）を行う場合もあります。

【大腸がん検診】

- 大腸がんは、わが国では50歳代以降に罹患する人が増加しており、がんによる死亡原因で2番目に多いがんです。
- 大腸がん検診は40歳になったら毎年、便潜血検査を繰り返し受けてください。ただし、血便、腹痛、便の性状や回数に変化したなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- 大腸がん検診で「要精密検査」となった場合は大腸がんの疑いがありますので、**必ず精密検査を受けてください。**精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査です。全大腸内視鏡検査が困難な時は、大腸内視鏡検査と注腸X線検査を組み合わせた検査などを行う場合もあります。

【肺がん検診】

- 肺がんは、わが国ではがんによる死亡原因で最も多いがんです。
- 肺がん検診は40歳になったら毎年、肺のX線検査を繰り返し受けてください。ただし、血たん、長引く咳や痰、胸痛、声のかれ、息切れなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- 肺がん検診で「要精密検査」となった場合は肺がんの疑いがありますので、**必ず精密検査を受けてください。**精密検査はCT、もしくは気管支鏡検査などです。精密検査の際、一時検診で撮影したレントゲンデータについて、精密検査医療機関へ提供されることがあります。
- 喫煙と肺がん**
喫煙者は非喫煙者と比べて**男性で約4倍、女性では約3倍肺がんになりやすく**、喫煙を始めた年齢が若く、喫煙量が多いほどそのリスクが高くなります。受動喫煙（周囲に流れるたばこの煙を吸うこと）も肺がんのリスクを2~3割程度高めます。禁煙によってご自身と周りの人の健康な肺を守りましょう。

【子宮頸がん検診】

- 子宮頸がんは、わが国では女性のがんの中でも罹患する人が多く、特に30~50歳代で多いがんです。
- 子宮頸がん検診で早期に発見して治療することにより、子宮頸がんで亡くなることを防ぐことができます。また、前がん状態も見つけることにより、子宮頸がんの罹患・死亡を防ぐことができます。
- 子宮頸がん検診は、20歳になったら子宮頸部の細胞診を繰り返し受けてください。ただし、月経（生理）以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則などの症状がある場合は、子宮体がんなどほかの病気のこともあります。次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- 子宮頸がん検診で「要精密検査」となった場合は子宮頸がんの疑いがありますので、**必ず精密検査を受けてください。**精密検査はコルポスコープ下の組織診・細胞診・HPV検査などを組み合わせて行います。

【乳がん検診】

- 乳がんは、わが国では女性のがんの中でも罹患する人が多く、40歳代からの罹患が増えます。がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- 乳がん検診は40歳になったら2年に1度、マンモグラフィを繰り返し受けてください。ただし、しこり、乳房のひきつれ、乳首から血性の液がでる、乳首の湿疹やただれなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- 乳がん検診で「要精密検査」となった場合は乳がんの疑いがありますので、**必ず精密検査を受けてください。**精密検査はマンモグラフィの追加撮影、超音波検査、細胞診、組織診などで、これらを組み合わせて行います。

○ブレスト・アウェアネス

ブレスト・アウェアネスとは、「乳房を意識した生活習慣」のことで、普段の生活習慣のなかで乳房の大きさや硬さ、月経周期による変化などを把握しておくことで、自分自身で異常の兆候に早く気づくことができるという考え方です。まずは、自分の乳房を知るところから始めましょう。そして、変化に気づいたら次の検診を待つことなく、医療機関を受診しましょう。